

株式会社未来機械、経営体制を強化

— 元Hondaの矢ヶ崎徹博士がチーフエンジニアに、
元ソフトバンク監査役の笠原諄一氏が監査役に就任 —

株式会社未来機械（本社：香川県高松市、代表取締役社長：三宅 徹）は、技術統括役職「チーフエンジニア（Chief Engineer）」を新たに設置して矢ヶ崎 徹（やがさき とおる）が就任するとともに、監査役として笠原 諄一（かさはら じゅんいち）を選任いたしました。いずれも2026年6月25日付で就任しております。開発を担う技術と、経営を監視するガバナンスの両面から、経営体制を強化するものです。

当社は、太陽光パネル清掃ロボットをはじめ、過酷な屋外環境で稼働する自律型ロボットの開発・事業を展開しております。事業領域が広がるなか、技術開発を統括する責任者と、経営を監査する監査役の役割は、いずれも重要性を増しております。今回の二名の就任は、この両面を強化するものです。

チーフエンジニアの設置および就任



チーフエンジニア（Chief Engineer）

矢ヶ崎 徹

やがさき とおる / 博士（工学）

チーフエンジニアは、当社製品の機械システム領域における技術統括の責任を担う役職です。2026年6月25日付でチーフエンジニアを新設し、矢ヶ崎 徹が就任いたしました。

矢ヶ崎は、株式会社本田技術研究所および本田技研工業株式会社において約36年にわたりパワートレイン領域の研究開発に従事し、令和6年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 開発部門を受賞しております。2025年7月に当社へ入社し、当社製品の機械システム（構造・機構・機械要素）の開発を統括してまいりました。チーフエンジニアとして、電気・制御・ソフトウェアの各領域と連携しつつ、当社製品の機械システム領域の設計・開発の全体を統括いたします。

当社には現在、矢ヶ崎を含め3名の博士（工学）が在籍しております。矢ヶ崎は、技術部門全体を統括し、過酷な屋外環境で稼働する当社ロボットの機構開発を牽引します。自動車のパワートレイン開発で培われた、過酷な稼働環境に耐える機構設計の知見は、当社ロボットの開発課題に直結するものです。

監査役の選任



監査役

笠原 諄一

かさはら じゅんいち

当社は監査役1名を置いており、2026年6月25日開催の第23回定時株主総会において、その監査役として笠原 諄一（かさハラ ジュンイチ）を選任いたしました。

笠原は、株式会社富士銀行（現・株式会社みずほ銀行）を経て、ソフトバンクモバイル株式会社（現・ソフトバンク株式会社）の常勤監査役を務めました。その後も複数の上場企業で監査役を歴任し、現在はソフトバンク株式会社のシニアアンバサダーを兼務しております。企業の急速な成長局面において、ガバナンスの実務を担ってきた経験を有します。

代表コメント

代表取締役社長 三宅 徹は、次のように述べています。

「当社は設立以来、『テクノロジーでロボットを当たり前存在にし、人々を苦役から解放する』ことを使命として、過酷な環境で稼働するロボットに挑んできました。この挑戦を続けるには、技術を極める力と、経営を律する目の両方が要ります。矢ヶ崎は、自動車開発の最前線で36年にわたり、基礎研究から量産までを一貫して手がけてきた技術者です。笠原は、変化の速い事業環境のなか、大きなビジョンを掲げて大胆な決断を重ねる起業家の下で、ガバナンスの実務を担ってきました。攻める技術と、支える監査。この両輪を得たことで、当社は次の成長段階へ進む備えを整えることができました。」

未来機械について

「テクノロジーでロボットを当たり前存在にし、人々を苦役から解放する」をミッションに掲げる、香川大学発のベンチャー企業です。

社名	株式会社未来機械（英文：MiraiKikai, Inc.）
所在地	香川県高松市上林町584-1
代表者	代表取締役社長 三宅 徹
設立	2004年3月24日
資本金等	約8億円
事業内容	ロボット・メカトロニクス機器の研究開発、製造、販売
URL	https://miraikikai.jp

■本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：

株式会社未来機械 広報担当：木戸、西岡

Tel. 087-816-5112 Email info@miraikikai.jp Web <https://miraikikai.jp/>